

疾走する日本車

1960年代を主軸とする

国産車の軌跡

2010年2月26日(金)～3月28日(日) 福井県立美術館

開館時間 ●午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日 ●3月8日(月)、3月15日(月)

観覧料

一般／800円

大高生／500円

中小生／300円

(30名以上の団体は2割引)

※障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は半額

(ただし障害者手帳等に介護印等のある方のみ)

【主催】 福井県立美術館、読売新聞大阪本社、美術館連絡協議会

【共催】 福井放送株式会社

【協賛】 ライオン、清水建設、大日本印刷

【協力】 いすゞ自動車株式会社、トヨタ自動車株式会社、日産自動車株式会社、日野自動車株式会社、本田技研工業株式会社、マツダ株式会社、三菱自動車工業株式会社(50音順)

【企画】 西村直樹(福井県立美術館)



トヨタ 2000GT ボンドカー(1966年)

疾走する日本車

アート

1960年代を主軸とする

国産車の軌跡

我が国で初めて国産自動車走り出し、驚きと羨望の眼差しをもって受け入れられてから約百年という時が経過しました。いつしか自動車は、日本の各メーカーによって量産されるようになり、現在では世界有数の自動車生産国として、世界トップクラスの性能とデザインを誇るまでになりました。本展では、日本車が加速度的に成熟したといわれる黄金期——1960年代を主軸とする14台の実車の展示によってカー・スタイリング／デザインの変遷を追い、同時にそれらを生み出す過程のデザイン画、試作モデル、宣伝広告等を展示することによって、当時の日本の自動車文化を検証します。



三菱 ギャランGTO-MR(1972年)



日産 シルビア(1966年)



ホンダ S500(1963年)



マツダ コスモスポーツプロトタイプ



日野 コンテッサ900スプリント(1962年)



いすゞ ベレット(1966年用試作車)



【交通案内】

- コミュニティバス／福井駅前西口「駅前商店街」または、「福井駅北」のりばより田原・文京方面行「県立美術館前」下車
 - 京福バス／JR福井駅西口(10番のりば)より福井総合病院線26系統「藤島高校前」下車(※日曜日、祝日は運休)
 - 福井鉄道・えちぜん鉄道／「田原町駅」下車、徒歩約8分
 - 車・タクシー／福井駅前より約8分、北陸自動車道福井北ICより約15分
- ※ご来館の際はできるだけ公共交通機関をご利用下さい。
お車の際はアイドリングストップにご協力下さい。

福井県立美術館

〒910-0017 福井市文京3-16-1

TEL:0776-25-0452

FAX:0776-25-0459

<http://info.pref.fukui.jp/bunka/bijutukan/bunka1.html>